

組織的アプローチ

**周知の工夫**

# そもそも・・・

「分かりやすさ」の工夫なしに、強度行動障害支援もチームプレイも難しい



構造化された環境は、利用者にとっても支援者にとっても分かりやすい

## 【利用者にとって】

- ➡ 理解をサポートする
- ➡ 混乱を未然に防ぐ
- ➡ 視覚的手がかりを使って、適切に情報に焦点をあてるのを助ける
- ➡ 情報に注意集中し、効率的に学習する手助けをする
- ➡ 自立するために、自分で行動するのを助ける


## 【支援者にとって】

- ➡ 支援の理解をサポートする
- ➡ 支援の混乱を未然に防ぐ
- ➡ 視覚的手がかりを使って、適切に情報に焦点をあてるのを助ける
- ➡ 支援を一人でできるために、自分で行動するのを助ける
- ➡ 振り返って支援内容を確認することを手助けする


# 周知の工夫 | 支援手順書

選食様 余暇支援『あそびり』について

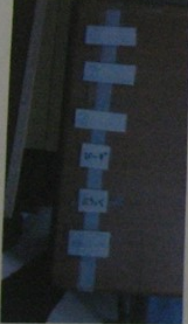

15:30よりスヌーズレン室にて余暇 『あそびり』を行います。  
課題は、1.パズル① → 2.パズル② → 3.パズル③ → 4.ビーズ → 5.ブロック  
の流れで行います。





1. スヌーズレン室に下図のように設置。





2. スケジュールにカードを貼る。①②③のカードはパズルファイルにあります。


3. 本人に2つパズルを選んでもらい、①②③に貼ってもらう。

4. パズル BOX よりパズルを出しセットする。三段目にビーズ、四段目にブロック設置。

5. 終了後、食堂に移動し、おやつファイルより菓子選択してもらい、提供する。  
組むまで、箱に入らず。



- チョコボール 5粒
- チョコパイ 1個
- ア-モンド 3粒
- アボロ 5粒
- 小瓶 1袋
- ピロ 1個
- マ-ルチョコ 5粒

利用者にとっては指示書  
職員にとっては個別の支  
援手順書

利用者にとっては、自立的  
に生活や活動を行うツール  
職員にとっては、統一した  
支援を提供できるツール

「この通りに行動すればちゃ  
んとできる。」  
「この指示書に沿ってもらえ  
ば利用者が安定安心でき  
る。」







